

平成30年度上田地域「地域発 元気づくり支援金」 事業実施結果一覧

整理番号	事業区分	ソフト・ハード	事業名	申請者	事業内容 (主な支対象経費 ①：ソフト事業 ②：ハード事業)	総事業費(円)		講評
							うち支援金額	
1	その他地域の元気を生み出す地域づくり	ソフト・ハード	上田市結婚支援事業「上田市縁結びプロジェクト」	上田市	未婚化の解消に向けて、SNSを活用した結婚機運向上プログラム、独身者向け婚活セミナーや交流イベント、親世代対象の婚活セミナー、結婚相談員のスキルアップセミナー等の結婚支援事業を展開した。 ①事業委託料(1,613千円)	1,613,079	1,209,000	結婚を希望する当事者だけでなく、その親や家族、結婚相談に携わる相談員と、多角的に結婚支援を行うことができた。また、SNSによる相談・情報発信を試行し、目標を上回る登録者数を得られたことから、新たな支援策として今後活かされることが期待される。
2	その他地域の元気を生み出す地域づくり	ソフト	機関誌を用いた市民による地域文化活動の発信・定着推進事業	上田市	サントミュージアの機関誌を発行し、協力者に情報発信のツールとして使ってもらうことで、住民が広く芸術文化に触れるきっかけを作るとともに、市民主体の文化による街づくりを推進した。 ①機関紙の企画・制作・印刷委託費(4,406千円)	4,406,400	3,304,000	3年目の事業であり、多くの場所で機関誌を設置してもえるようになった。また、市民参加型の機関誌という点に力を入れてきたことから、発行主体である「サントミュージア」が主催する市民参加事業への参加者増にもつながっており、文化活動の地域への定着を図ることができた。
3	教育、文化の振興	ソフト	地域文化の育成と発信およびシティプロモーション	上田市	住民が自身の住んでいる街の価値を再認識し、自らPRしていく機運を醸成するため、上田市の文化的・芸術的側面に焦点を当てたPR動画を制作した。 ①撮影、編集、制作委託費(994千円)	933,600	794,000	作成した動画を様々な媒体で発信することでより多くの人に上田市の魅力を伝えることができた。また、ワークショップや動画撮影を通じ、市内からの参加者には新たなまちの魅力を発見してもらうこと、市外からの参加者には観光だけでは見られない上田市の魅力を感じてもらおうことで、インナープロモーションとアウトプロモーションを同時に推進することができた。
4	教育、文化の振興	ソフト・ハード	地域住民の読書活動の推進、図書館ボランティア等の市民協働への促進事業	上田市	本や読書の楽しさを知り、自発的な読書活動を促すきっかけや、図書館ボランティア等への参加を促す契機として、著名な作家による講演会、超大型絵本の読み聞かせを実施した。 ①講師謝礼、超大型絵本設営委託費、チラシ等印刷費(881千円)	880,640	660,000	講演会及び「超大型絵本」読み聞かせ会では、予定を大きく上回る多くの参加者があり、多くの住民に図書館や読書の魅力を伝えることができた。 読み聞かせ会は、日ごろは各地域で活動しているボランティアに参加していただくことにより、ボランティア同士の交流を深めることができた。
5	その他地域の元気を生み出す地域づくり	ソフト	東御市結婚活動支援事業「であうとうみ」	東御市	人口減少や未婚化・晩婚化への対策として、コミュニケーションスキル向上のための講演会や男性向けセミナー、出会いを創出する恋活イベント、相談事業との連携等を実施した。 ①事業委託料(929千円)	928,800	696,000	少子化問題等に関する講演会や男性向けセミナー、出会いのイベント等を開催することで、市民や企業経営者の婚活支援事業に対する意識の醸成が図られるとともに、11件のカップリング実績が得られ、一定の成果が認められる。
6	教育、文化の振興	ソフト・ハード	歴史遺産を核としたオリエンテーリングモデル事業	長和町	鉱山や遺跡といった歴史遺産や、黒耀石を観光資源としてPRするため、黒耀石鉱山の探検や遺跡でのコンサート、雪のナウマンゾウ作り等を実施した。 ①コンサート謝礼(150千円)等 ②解説板設置、トランシーバー購入費(1,510千円)	1,842,462	1,264,000	ツアーやスノーハイキングでは、黒耀石体験ミュージアム友の会会員による案内看板を活用した解説や旧石器時代をイメージした石焼料理体験プログラムの実施など、歴史遺産を活かす工夫をしながら観光資源の創出を図ることができた。
7	商業の振興	ソフト・ハード	特産品開発支援及びPR事業	長和町	アイスクリーム生産に必要な機器を購入し、町を代表する特産品を開発するとともに、町の活性化につなげるため、PR品のデザインを行った。 ①PRイベント、パンフレット作成費(1,728千円) ②施設改修、温度計測器購入費、アイスカップ打栓機(1,399千円)	3,126,600	2,050,000	昨年度特産品として開発したアイスクリームの供給体制の確立、品質管理を目的として機械を導入するとともに、生産拠点となる食品加工施設を整備した。また、町の奨励品10周年記念イベントへの出店(試食)、商談会への参加により、開発されたアイスクリームの認知度が向上し、需要を喚起することができた。

平成30年度上田地域「地域発 元気づくり支援金」 事業実施結果一覧

整理番号	事業区分	ソフト・ハード	事業名	申請者	事業内容 (主な支対象経費 ①：ソフト事業 ②：ハード事業)	総事業費(円)		講評
							うち支援金額	
8	環境保全、景観形成	ソフト・ハード	ふるさと公園あおきみんなの公園プロジェクト	青木村	持続的な花壇づくりと運営体制を確立するため、サポーター制度に登録したボランティアによる運営や、多年草の苗を購入して植栽を実施したことで、住民自ら公園を作り上げるという機運の醸成を図った。 ①苗代、肥料代(790千円)等	801,128	600,000	支援を受けて3年目の事業であり、今年度は、多年草を植えたり、花壇を管理するサポーターを募集するなど、今後も事業を継続させていくための工夫をしながら実施することができている。 植花や花壇の管理に多くの村民に関わってもらうことで、村民に愛着を持たれる公園づくりが行われた。
9	その他地域の元気を生み出す地域づくり	ソフト	一石二鳥で農地を活かす「竹チップ活用プロジェクト」事業	青木村	農地の荒廃化防止と竹林整備を目的として、竹チップを活用した土壌改良の学習や実践、先進地への視察を行った。また、土壌改良した畑で生産した作物の食味等の分析を行った。 ①講師謝金、チェーンソー等購入費、試料分析費(222千円)等 ②竹破砕機購入費(2,740千円)	2,982,843	2,248,000	竹チップを活用した土壌は、肥沃度が高く、作物の栄養素も高まる傾向が表れ、竹チップの有効性が確認された。先進地視察は広く参加を募って実施し、住民への理解浸透と機運醸成が図られた。 事業で整備した機器を住民に貸し出し、竹チップによる土壌づくりを推進しており、荒廃農地の再生活用に向けた基盤づくりに寄与できる。
10	特色ある観光地づくり	ソフト	～青木の先人、五島慶太翁 没後60年～「誇らしきわが郷土」再発見事業	青木村	地域住民が自身の地域に愛着と誇りを持てるようになるとともに、観光誘客効果を高めるため、青木村の先人、五島慶太氏の功績や人物像についての講演会の開催、パンフレット、大型看板、デジタル映像及び五島氏生家の模型を作成し、PRを行った。 ①パンフレット、デジタル映像作成費等(896千円) ②野立看板、生家模型作成費(1,456千円)	2,436,372	1,875,000	事業を始めた矢先に五島慶太翁の生家が消失するというトラブルに見舞われながらも、生家の復元模型を製作したり慶太翁生誕の地をアピールする看板を立てるなどして、工夫をしながら郷土の地域資源を活かす取組を行うことができた。 また、慶太翁が創立した学校法人五島育英会東京都市大学と包括連携協定を締結したことで、慶太翁を縁として関係人口が拡大していくことが期待される。
11	保健、医療、福祉の充実	ソフト	ニュースポーツ推進事業	青木村	中学生や働き盛り世代、高齢者の運動不足を解消するため、幅広い年代層が楽しみながら運動できる「スマイルボウリング」、「囲碁ボール」といったニュースポーツの講座や大会を実施するとともに、認知症予防としての太鼓教室を開催した。 ①講師謝礼、スマイルボウリングセット購入費、太鼓用椅子購入費及び音響機器購入費(762千円)等	1,415,146	1,104,000	体験イベントを開催したり、村のスポーツ祭で体験コーナーを設置したり、工夫をしながら普及活動が行われ、特定のグループだけでなく多くの人々がニュースポーツに触れる機会を提供した。 備品を活用した大会等の催しには、多くの参加者が得られ、地域活動でも積極的に活用されている。今後も住民への普及を積極的に行い、さらなる健康増進に活用されることを期待したい。
12	その他(産業の振興及び雇用の拡大)	ソフト	東信州広域連携による次世代産業創出事業	東信州次世代産業振興協議会(上田市)	地域間取引を拡大する企業間ビジネスマッチングの創出と次世代産業を生み出す分野別研究会の立ち上げを目的として、勉強会、セミナー、HPによる情報発信、ビジネスマッチング会等を行った。 ①講師謝金、バス代、印刷製本費(2,806千円)等	3,000,126	2,400,000	地域内企業の競争力向上と次世代産業創出に向け、分野別講演会や各種セミナー、ビジネスマッチング会等を実施するとともに、産業集積マップの作成、東信州広域連携戦略プランの策定及び開発プロジェクトの起ち上げの検討に資することができた。
13	教育、文化の振興	ソフト	重文常田館製糸場施設活用事業	NPO法人 絹の文化・蚕都常田館(上田市)	常田館製糸場施設を上田歴史周遊の一観光拠点とするため、障がい者の作業時の安全確保や高齢者の見学者の受け入れ体制整備を行うとともに、ボランティアガイド養成や情報発信を行った。 ①テント、椅子、体験用器具購入費、講師謝金(324千円)等	525,708	420,000	施設設備の整備として、テントや椅子を購入し来場者の居場所をつくったこと、統一感のある案内表示を配置したことにより誰もが落ち着いて利用しやすい施設になった。 また、糸から織りまでの一貫した実演体験会の提供、専門家による講演会、小中高で出前授業を行い、蚕糸文化の伝承活動を行うことができた。
14	商業の振興	ソフト	上田まちなかイタリア交流促進事業	上田商工会議所(上田市)	ラグビーワールドカップイタリア代表による菅平高原でのキャンプ実施を契機に、イタリアについて学ぶ連続講座の実施やタペストリー等の掲出により、上田市中心市街地の活性化を図った。 ①講師謝金、広報費(2,224千円)等 ②懸垂幕、顔出しパネルの製作費(571千円)	2,839,583	2,063,000	ターポリンやのぼり旗等の掲出、「イタリアを学ぶ連続講座」の開催により、多くの市民がイタリア代表チーム事前合宿への興味・関心を持つキッカケ作りや事前合宿受入れの機運を創出することに大きく貢献した。 また、中心商店街や地域団体等が主催する関連事業とも連携したことで、上田市街地への誘客、賑わいの創出等にも寄与したと同時に、各団体との連携をより深めることができたと考えられる。

平成30年度上田地域「地域発 元気づくり支援金」 事業実施結果一覧

整理番号	事業区分	ソフト・ハード	事業名	申請者	事業内容 (主な支対象経費 ①：ソフト事業 ②：ハード事業)	総事業費(円)		講評
							うち支援金額	
15	特色ある観光地づくり	ソフト・ハード	別所市場・太陽と大地のマルシェ継続実施と地元の食をテーマとした地域活性化事業	別所温泉観光協会(上田市)	別所温泉中心部の温泉施設跡地において農産物直売所「マルシェ」、ステージイベント、講習会、ヨガやウォーキング指導等を実施し、魅力的な観光地づくりを推進した。 ①出演料・講師料、設営費、広告宣伝費(1,760千円)	1,768,210	1,326,000	前年に行ったアンケートを元に改善を図ったためか、悪天候にも拘わらず多くの方の参加をいただき、アンケート集計数は昨年を上回るなど、着実に地域イベントとして定着してきた様子が見えてくる。 当該実績を、一過性ではなく、更なる地域活性化に向けた取組に繋げようとする関係者等の意気込みも強く感じられ、別所温泉の未来を見据えた観光地づくりへの取組として意義深い成果をあげたものと思料される。
16	特色ある観光地づくり	ソフト	別所温泉の魅力の世界に発信するための外国人集客と受け入れ態勢の整備事業	別所温泉旅館組合(上田市)	外国人観光客が快適に観光・滞在できるよう、外国語表記の観光マップ、小冊子を作成し、インバウンドに対する受け入れ体制を整備した。 ①パンフレット、小冊子デザイン、印刷費等(1,638千円)	1,638,360	1,228,000	地域で実際にインバウンド対応で活躍するメンバーはじめ、広く多業種の参加を求め、協議会を形成して検討を加える労を惜しまなかったことにより、単に既存の日本語印刷物を英訳しただけでない、外国人目線による、外国人旅行者のためのガイドブックができたことは、今後の施策推進に向けた成果と思われる。 これら印刷物を最大限に活用して、インバウンド推進に繋げる今後の活動に期待したい。
17	特色ある観光地づくり	ソフト	信州上田地域の山の魅力PRプロジェクト	一般社団法人日本スカイランニング協会(上田市)	上田地域において、スカイランニングが地域スポーツとして育つ可能性があること、適した山々が広がり山の魅力を感じられる地域であることを国内外に向けて動画でPRした。 ①動画撮影費(415千円)	414,998	311,000	スカイランニングに適した山々を有する上田地域の特性をいかした事業であり、その魅力をPRできる動画を作ることができた。 動画は外国人に対しても視覚的に伝えやすく、国外にも愛好家が存在するスカイランニングには適した宣伝方法であると思われるため、当地域のインバウンドに貢献されることが期待される。
18	特色ある観光地づくり	ソフト・ハード	別所線と走ろう、歩こう ラン&ウォーク	別所線と走ろう実行委員会(上田市)	別所線沿線でランニング&ウォーキングイベントを開催し、翌日にランニング講習やエクササイズ大会等の併催イベントを行った。併せて地域の情報発信を行い、国内外からの観光客の集客を図った。 ①チラシ等印刷費、会場設営費、講師謝金(825千円)等 ②タープ購入費(128千円)	3,117,253	962,000	「上田電鉄別所線」という地域資源を活用したイベントは、県外からの参加者も多く、スポーツ振興と健康づくり支援に繋がるツーリズムとして定着しつつあり、観光振興及び地域活性化に寄与した。インバウンドも見据え、SNS等を活用した多言語による地域のイベント情報発信に取り組んだ。
19	農業の振興と農山村づくり	ソフト	「信州上田のなないろ農産物」ブランド化事業	上田地産地消費推進会議(上田市)	上田の農産物のブランド化と地産地消を推進するため、長野県オリジナル品種米「風さやか」を用いた高校生との農作体験実施、首都圏での商品展示会への出展を行った。また、みどり大根についても農作体験や収穫祭を実施し市内外へのPRを図った。 ①商品展示会出展料、収穫祭経費(3,234千円)	3,234,164	2,557,000	長野県オリジナル米品種の「風さやか」と「みどり大根」を中心に、地産地消、イベント展開、ブランド化等に取り組んだ。生産者や企業、教育機関との連携により、それぞれの企画への参加者も多く、地元農産物のPR効果は高かった。 制作された動画やパンフレット等は、上田市農産物の消費拡大等、今後の展開にも有効活用されることが期待される。
20	教育、文化の振興	ソフト	子どもアトリエを活用した創造活動プログラム	子どもアトリエ運営委員会(上田市)	小中学生までの子どもたちが、芸術に触れ、学校では体験できないような創作活動に取り組み、自立心や情操を育むことができるよう、様々なプログラムを展開した。 ①講師謝金、消耗品費(1,090千円)等	1,275,174	956,000	昨年度からの継続事業であるが、新規の講座を立ち上げ、多くの子どもたちが創造活動を体験できる機会を創出することができた。また、保育園や幼稚園、学校との連携を深め、昨年度よりも多くの講座を開催しており、今後も子どもたちの創造力や自主性を育む取り組みに期待したい。
21	教育、文化の振興	ソフト	信州上田「やまほいくの里山」プロジェクト -上田女子短期大学の裏山で遊ぼう-	学校法人北野学園 上田女子短期大学(上田市)	教育・保育における地域環境の有効利用についての意識を高めるため、小中学校の教員、親子、学生らを対象に、短大の裏山を利用した遊びや自然体験活動、自然保育の先進地視察等を実施した。 ①講師謝金、広告費、バス借上げ代等(938千円)	971,397	765,000	自然豊かな地域環境を有効利用しながら、「自然保育」に関する実践、研究等に取り組むことができた。 学生には自然保育実施施設の視察の他にも、ワークショップでは進行を務めてもらう等、人材育成に資することができた。
22	教育、文化の振興	ソフト	上田街中演劇祭2018-演劇による地域振興と演劇文化担い手育成事業	一般社団法人シアター&アーツえだ(上田市)	演劇を身近に体感し、中心市街地が文化的に活性化していくことや、地域間・世代間の交流創出を目指し、上田中心市街地の複数会場で演劇祭やワークショップを開催した。 ①出演料、宣伝費、舞台運営委託費(6,047千円)	6,313,322	4,937,000	中心市街地の人気店舗や空き店舗を活用した演劇祭の開催により、演劇鑑賞を身近で提供し、地域住民の文化芸術に触れる機会が増加した。また、世代間交流や観客同士の新たな交流が生まれ、商店街の賑わい創出と活性化に寄与した。

平成30年度上田地域「地域発 元気づくり支援金」 事業実施結果一覧

整理番号	事業区分	ソフト・ハード	事業名	申請者	事業内容 (主な支対象経費 ①：ソフト事業 ②：ハード事業)	総事業費(円)		講評
							うち支援金額	
23	教育、文化の振興	ソフト・ハード	丸子太鼓保存会創立50周年記念地域振興事業	丸子太鼓保存会(上田市)	地域の伝統芸能である和太鼓の魅力を再認識し、地域の活性化へつなげるため、他の和太鼓団体とのコンサートやプロを招いての演奏会、和太鼓合宿の受入れ等を行った。 ①講師謝金、会場費、Webサイト制作費(731千円)等	1,209,450	954,000	コンサートやワークショップ等の取組により、地元住民にも和太鼓の魅力を再認識していただくことにより、地域の伝統芸能である和太鼓を軸とした交流・誘客の土壌を作ることができた。 今後、鹿教湯温泉での和太鼓合宿の魅力がさらにひろがり、地域活性化に寄与することが期待できる。
24	特色ある観光地づくり	ソフト	忍者を核とした健康寿命延伸プログラム推進事業	鹿教湯温泉旅館協同組合(上田市)	鹿教湯温泉の新たな魅力を発信し、地域住民の健康寿命延伸と交流人口増加を目指し、「忍者」と「未病」をキーワードとした体験プログラムの作成及びモニターイベントを実施した。 ①事業委託費(705千円)	705,090	486,000	鹿教湯温泉を拠点とした「健康」と「忍者」を掛け合わせた事業を推進するために、同地域の資源の洗い出しや現状分析をするとともに、モニターワークショップを開催することで広域的な周遊プランの検討への基礎づくりを行った。 体験プログラム「忍者ライド」は、新たな周遊を楽しむためのコンテンツとして定着することで、地域の活性化やインバウンド対策を通じた集客率の向上も期待できる。
25	教育、文化の振興	ソフト	こだまジャズ開催事業	こだまジャズ実行委員会(上田市)	上田市の信州国際音楽村でジャズフェスティバルを開催するとともに、地元食材を利用した軽食の販売を行った。 ①アーティスト出演料、会場費、広告費(609千円)等	793,414	402,000	ジャズフェスをとおして地域食材や特産品のPRをはじめ、地元住民との協働による地域振興に寄与するとともに、県内外からの誘客を行うことができた。 今後も地域資源を活用したイベントとして定着することで、地域の活性化やさらなる集客数の向上も期待したい。
26	特色ある観光地づくり	ソフト・ハード	健康東信地域発みんな歩いて湯にパーサル推進事業	一般社団法人日本パディケア協会(上田市)	旅行弱者のニーズに沿って旅行をサポートする「パディケア」の概念を発信し普及啓発するとともに、パディケアスタッフの養成やアウトドア用車いすの購入により受け入れ体制の整備を行った。 ①ポスター、チラシ作成費等(358千円)等 ②可搬型階段昇降機、アウトドア用車いす購入費(1,294千円)	1,716,440	1,307,000	新しい湯治場と健康的なユニバーサルツーリズムを目指し、ハード面ではインフラ整備が進まない中「らく段(昇降機型車いす)」や「ヒッポキャンプ(登山用アウトドア車いす)」を導入し、誰にでも来やすい湯治場づくりに取り組んだ。また、ソフト面では「ヒッポキャンプ」利用のインストラクターライセンスである「UNIT1」も取得することで、野外活動への参加での健康推進と高齢者のフレイル予防(健康を取り戻すための早期に行う支援)への継続的な推進を図ることができた。
27	中止							
28	特色ある観光地づくり	ソフト・ハード	田中駅開業130周年活用事業	一般社団法人信州とうみ観光協会(東御市)	田中駅の歴史的価値の再認識と、東御市への観光誘客を促進するためのきっかけとして、田中駅開業130周年記念イベントやパネル展示、田中駅を起点としたまち歩きツアーを実施した。 ①パネル、木プレート制作等委託費、チラシ等印刷費(413千円)	413,420	330,000	パネル展示コーナー設営や記念イベント等、住民協働により実施することができた。 また、全国の「田中さん」に参加を呼びかけるなどの話題性の提供や、外国人観光客を誘客するための取組に着手できたことなども、事業成果として認められる。
29	教育、文化の振興	ソフト・ハード	地域ぐるみで家族への想いを共に感じ考える活動事業	東御ひだまり家族村(東御市)	家族の大切さや地域づくりを共に考えるきっかけを作るため、朗読劇の公演やワークショップを開催するとともに、地元有志による朗読劇のミニ講演を行った。 ①公演料、コーディネータ謝金、印刷費(2,742千円)等	2,815,900	2,188,000	平成29年度からの継続事業であるが、それをきっかけとしてプロによる朗読劇だけでなく地元住民によるミニ公演を行い、地域に密着した活動として家族間・地域内の交流を広げることができた。
30	その他地域の元気を生み出す地域づくり	ソフト	田沢地域の魅力を発掘・発信。外来者呼び込み実践事業	田沢おらほ村活性化委員会(東御市)	田沢地域のPRと来訪者の増加を図るため、東京都大田区糀谷商店街、梅屋敷商店街との交流事業、空き家ワークショップの開催、遊歩道の整備を行った。 ①チラシ印刷費、車両借上料、遊歩道整備費、講師謝礼(551千円)	551,085	440,000	遊歩道の整備や空き家活用状況把握のための見学会、ワイン等を活用した地域振興策に関する講演会を開催するとともに、首都圏の商店街関係者との交流事業を実施するなど、地域の魅力増進と首都圏との交流促進が図られた。
31	特色ある観光地づくり	ソフト	マルメロ夜イチ事業	マルメロ市実行委員会(長和町)	道の駅「マルメロの駅ながと」を多くの観光客が楽しめる観光スポットにするとともに、地元住民の利用数も増やすため、ナイト・マーケットイベント「マルメロ夜イチ」を開催した。 ①会場設営費、広告料、提灯製作代、出演料(1,050千円)等	1,363,518	930,000	観光客や地元住民が楽しめる体験型イベントや地元や近隣の食を味わえる飲食店などの出店等の工夫で集客につなげることができた。 地元の団体等によるパフォーマーを増やすなど、参加者や来場者の満足度を高めることで更なる観光振興への貢献が期待できる。

平成30年度上田地域「地域発 元気づくり支援金」 事業実施結果一覧

整理番号	事業区分	ソフト・ハード	事業名	申請者	事業内容 (主な支対象経費 ①：ソフト事業 ②：ハード事業)	総事業費(円)		講評
							うち支援金額	
32	特色ある観光地づくり	ソフト・ハード	信州・青木村 交流人口拡大モデル創出事業	青木村	交流人口の増加と村への移住・定住促進を図るため、青木村の魅力発信を行うとともに、子育て世代を対象に地域資源を活かした体験型観光モデルツアーを実施した。 ①魅力発信パンフレット、体験ツアー経費(827千円) ②着ぐるみ制作費821千円)	1,647,427	1,276,000	日本一住みたい村に選ばれたことがある信州青木村の良さを知ってもらい、移住促進につなげるため、子育て世代を中心とした1泊2日の体験ツアーを企画し、11名が参加して、うち6名が信州・青木村サポーターズ倶楽部に入会するなど、交流人口拡大の成果が認められる。 今後はモニターツアーの結果をもとに、満足度の高い体験型観光ツアーを実現されることが期待される。
33	その他地域の元気を生み出す地域づくり	ソフト・ハード	信州・青木村 魅力発見事業	青木村	東京農業大学の学生に、青木村の歴史・文化、地域資源等の調査研究を依頼し、そこで発見された魅力を小冊子やポスター、SNS等で情報発信を行った。また、同大主催の「産官学意見交流会」に参加し、魅力を発信した。 ①小冊子、ポスター等の作成経費及び交通費(797千円) 等	822,442	637,000	東京農大との包括連携協定を機に、学生の村内での活動等に地元住民が刺激を受け、交流も生まれるなど活気が出てきている。 作成された小冊子についても、村の魅力を再発見する機会となるとともに、新成人への配布等により若者の定住促進に活用されることが期待される。
34	安全・安心な地域づくり	ソフト・ハード	ふれあいサロン 地域住民の交流の場所づくり事業	豊殿ふれあいサロン運営委員会(上田市)	高齢者や子育て中の母親等が地域で孤立することがないよう、農協の空き店舗を活用して地域住民の交流の場所づくりを行った。 ①テーブル・椅子及び家電品購入費、チラシ作成経費等(307千円) ②冷蔵庫、オープンレンジ(235千円)	542,160	421,000	サロンでは、飲食物の提供だけでなく、趣味の教室やコンサート、餅つき大会などのイベントを開催し、誰もが気軽に集える居場所として、心豊かな地域づくりに取り組むことができた。また、健康体操を定期的に開催し、積極的に介護予防活動も実施した。 運営を行うボランティアも多く集まり、住民による地域に根付いた取り組みとして継続していくことが期待できる。
35	その他(産業の振興及び雇用の拡大)	ソフト	信州上田たろうフェスティバル	一般社団法人上田青年会議所 地域ブランド発信委員会(上田市)	信州上田の魅力を知って理解を深めてもらうため、食事、物産、音楽等が体感できるイベントを開催した。 ①チラシ等制作費、出演料・交通費、会場設営費等(3,234千円)	3,284,345	2,621,000	イベントには8,000人という多くの参加者があり、賑わいを創出することができた。また、地元出身アーティストによるライブをはじめ、地元の商品や飲食物を提供するなど、地域の魅力の発信を図ることができた。
36	地域協働の推進	ソフト	みんなの居場所づくり事業	上田ボランティア連絡協議会(上田市)	高齢者や障がい者などが地域で孤立化するケースが増える中、地域住民が安心して暮らせる支え合いの拠点(居場所)づくりを行った。 ①調理器具及び家具購入費、会場費、講師謝金(1,180千円) 等	1,219,555	975,000	子どもを中心に住民が集える居場所を整備し、地域住民が支え合える仕組みづくりに取り組んだ。スタッフ研修や運営会議等を開催し、運営体制の強化を図った。 事業の周知にあたっては、子ども達の絵をポスターとして活用するなど、認知度向上に向けて工夫した。
37	安全・安心な地域づくり	ソフト	一場所多役の子ども居場所事業	NPO法人子育て応援団ぱれっと(上田市)	貧困や障がいなど多様な課題を抱える家族等を、地域で支える居場所を創出するとともに、それに関わるスタッフの研修を行った。 ①調理器具、家具、チラシ制作費、講師謝金・交通費(1,870千円) 等 ②キッチン台、テーブルレンジ(905千円)	2,790,842	2,169,000	子どもレストランの開催、学習支援、ものづくり体験等、子どもの居場所提供に取り組むとともに、スタッフ研修会の開催、設備の整備、住民や学生ボランティア等との連携による運営体制の強化等、居場所の環境整備を実施した。定期的に開催したことにより認知度も向上し、多くの参加者があり、多世代の交流も促進した。
38	教育、文化の振興	ソフト	湯の丸高原におけるスポーツを通じた健康増進事業	東御市陸上競技協会(東御市)	子供達を中心とした市民の健康増進を図ったため、ランニングカーニバルやミニ駅伝大会を湯の丸高原スポーツ交流施設で開催した。 ①講師謝礼、消耗品費、印刷費(551千円) ②テント購入費(151千円)	702,027	553,000	プロアスリートを招聘して記録会及びランニングの講習会を開催し、住民の健康増進を図るとともに、小学生駅伝大会を開催し、子どもたちの体力向上を図ることができた。 また、駅伝大会には近隣市町村のクラブチームにも参加を呼びかけて地域間交流を図ることで、地域全体のスポーツ振興に寄与することができた。
39	特色ある観光地づくり	ソフト	ワインツーリズムを基軸とした観光二次交通実証運行事業	一般社団法人信州とうみ観光協会(東御市)	ワイナリー訪問をはじめとする観光ツーリズムを推進するため、しなの鉄度田中駅を起点とした周遊バスをグリーンシーズン(6~11月)の土日祝日等に運行し、利用者の満足度調査などの実施により、効果検証を行った。 ①車両借上料、広告宣伝費(5,640千円)	6,340,000	4,512,000	観光二次交通を多くの方が利用し、地域の活性化に寄与することができた。 引き続き「ワインを基軸とした地域ツーリズム」を推進し、地域の観光コンテンツの見直し・強化を図る中で、東御市ブランドの形成に結びつくことを期待したい。

平成30年度上田地域「地域発 元気づくり支援金」 事業実施結果一覧

整理番号	事業区分	ソフト・ハード	事業名	申請者	事業内容 (主な支対象経費 ①：ソフト事業 ②：ハード事業)	総事業費(円)		講評
							うち支援金額	
40	環境保全、景観形成	ソフト	郷土を代表する水彩画家・丸山晚霞のアトリエ「羽衣荘」の整備事業	NPO法人 ひと・生きもの・暮らし研究所(東御市)	丸山晚霞のアトリエ「羽衣荘」庭内にシヤクナケの植栽とアトリエ跡地の可視化を行うとともに、看板・説明版を設置し環境整備を行った。 ①庭内整備、植栽費用(225千円) ②看板・説明版の設置(262千円)	486,810	341,000	東御市を代表する水彩画家 丸山晚霞のアトリエ「羽衣荘」の庭園整備や看板設置等を実施し、訪れた人々が庭園の散策を楽しんでいただける環境を整えることができた。
41	教育、文化の振興	ソフト	雷電為右衛門顕彰普及事業 どんどこ！雷電巨大紙相撲大会	しげの里づくりの会(東御市)	史上最強の力士と名高い雷電為右衛門の生誕地である東御市において、幅広い年齢層と様々なグループが参加する巨大紙相撲大会を開催し、協調性、協働性を育むとともに、相撲文化の理解を深めた。 ①講師謝金・旅費、土俵制作費、材料費等	618,088	494,000	雷電為右衛門という郷土の偉人を題材に、幅広い世代が楽しめるイベントを開催し、昨年を上回る参加者や企業の協力を得て、地域が一体となった取組を行うことができた。 取組が地域に定着し、相撲文化やスポーツ振興にも寄与することが期待される。
42	教育、文化の振興	ソフト	学びによるものづくりワークショップ	御牧ふれあいの郷づくり協議会(東御市)	子供達に豊かな発想を持ってチャレンジして生きる力を身につけてもらえるよう、陶芸家・工芸家・金属作家・ペイント作家等によるワークショップやトークイベントを開催した。 ①講師謝金・旅費、会場準備費、消耗品費、印刷費(1,548千円)	1,808,853	1,400,000	芸術、ものづくりという分野において、幅広い世代や地域の方が一緒になって試行錯誤を重ね、協同で作業にあたることによって、多様性を認める考え方や新たな交流の場を築くことができた。
43	教育、文化の振興	ソフト	スキー産業を支える人材と「スキーで世界に羽ばたく人材」育成事業	長和町スキー振興協議会(長和町)	スキー産業の担い手の育成を図るため、競技用スキー板を購入し、スキー教室やスキー競技指導を専門家に委託して実施した。また、スキー大会参加にかかる登録手続きの支援(委託)した。 ①スキー指導委託、競技用スキー板購入(3,550千円)	3,550,000	2,662,000	子ども達が将来にわたってスキーに親しみ、地元のスキー場に愛着を持てる環境づくりとして、地域の小中学生を対象としたスキー教室の開催、競技スキーの指導、大会参加支援などを実施し、地域の基幹産業であるスキー産業を支える人材を育成することにより、スキー産業の振興に寄与することができた。
44	教育、文化の振興	ソフト・ハード	日本遺産「星降る中部高地の縄文世界」推進事業	長和町	日本遺産認定の意義等に関する住民理解の浸透と地域の機運形成を図るため、看板・垂れ幕等を作成し、記念イベントを開催した。 ①パンフレット等制作費、出演料、会場設営費等(1,542千円) ②看板制作費(4,428千円)	5,969,880	4,541,000	長和町を含む県下8市町村と山梨県下6市町村が申請した「星降る中部高地の縄文世界」が平成30年度に日本遺産に認定されたことに伴う事業であり、「星降る」というキーワードとなった「黒耀石」が同町のものであるということを広く発信することができた。また、町内にあっても地域の歴史遺産の価値や魅力を再認識していただく機会となった。
45	農業の振興と農山村づくり	ソフト	「道の駅あおき」魅力発信事業	あおき農産物直売所運営組合(青木村)	「道の駅あおき」の魅力拡充、情報発信、生産者と関係団体との相互交流や連携促進による地域の活性化を図るため、案内パンフレットを作成し、誘客イベントを開催した。 ①案内パンフレット制作費(187千円) ②テント購入費(440千円)	627,048	479,000	住民参加でパンフレットを作成し、道の駅をはじめとした村の魅力を発信することができた。 支援金により整備されたテントを積極的に活用してイベントを開催し、道の駅への来場者増に寄与することができた。
合計						86,443,159	63,847,000	

全44事業(申請取下げ事業1件を含めない)